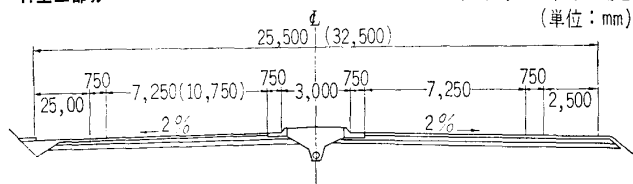
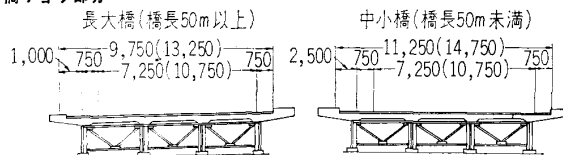


1. 土工部分



2. 橋りょう部分



標準断面図

幅員 岩槻・鹿沼間 32.5 m, 鹿沼・宇都宮間 25.5 m, 宇都宮以北 25.0 m

連絡施設 インターチェンジ 11 箇所, サービスエリア 4 箇所, パーキングエリア 5 箇所。バスストップ約 12 箇所

既算建設費 約 1,058 億円

工事の施行 昭和 41 年度着工, 昭和 48 年度完成

2. 現況

昭和 40 年 9 月 1 日に現在の建設第二部の前身である

高速道路調査室が発足し、宇都宮市および仙台市に調査事務所が設けられてから約 5 年間を経過したが、この間機構、所掌範囲の改廃が行なわれ、現在、東京支社管内の現地機関として岩槻、加須、館林、栃木、鹿沼、宇都宮および黒磯の 7 工事事務所が設置されている。

路線発表および中心グイの設置はすべて終り、岩槻インターチェンジより矢板インターチェンジまでの約 110 km および塩原町、西那須野町、黒磯町、那須町の黒磯工事事務所管内約 33 km, 合計 143 km は幅グイ設置が完了し、すでに、岩槻インターチェンジより鬼怒川まで約 104 km の用地買収が完了している。矢板インターチェンジの北、矢板市の残区間約 13 km については工事説明中で、近く幅グイ打ちに入れる見込みで、本年度中には鬼怒川より那須まで約 52 km の用地買収を完了する予定である。

低盛土と軟弱地盤を対象とした久喜試験盛土工事、鹿沼土を対象とした鹿沼試験盛土工事も終り、岩槻インターチェンジより宇都宮インターチェンジまでの約 94 km 間については土工および構造物の一般工事を施工中で、来年度には舗装工事も発注し、47 年度中に完成、供用すべく努力中である。

進捗状況表 (総延長156.0km)

45. 9 月現在

インターチェンジ (km)	岩 久 加 館 佐 栃 鹿 宇 都 矢 西 那 那 槻 喜 須 林 野 木 沼 宮 板 須 野 須																									
	○ — 14.6 — 7.9 — 12.6 — 8.9 — 17.8 — 18.8 — 11.5 — 17.1 — 18.9 — 13.2 — 14.9 —																									
県 名 (km)	埼 玉 県 32.5					群 馬 県 8.3			栃 木 県 115.2																	
市 町 村 名 (km)	岩 槻 市	蓮 田 市	白 岡 市	久 喜 市	加 須 市	羽 生 市	明 和 村	館 林 市	板 倉 町	佐 野 市	藤 岡 市	岩 舟 町	栃 木 市	都 賀 町	西 方 村	栗 野 町	鹿 沼 市	宇 都 宮 市	上 河 内 村	氏 家 町	塩 谷 町	矢 板 市	塩 原 町	西 那 須 野 町	黒 磯 町	那 須 町
	4.4	3.3	5.3	4.7	10.2	4.6	1.9	5.3	1.1	6.9	1.3	6.7	8.7	3.9	3.5	0.4	10.6	12.7	8.0	0.5	1.5	17.1	7.2	2.6	8.4	15.2
工 事 々 務 所 名 (km)	岩 槻 17.8			加 須 14.5			館 林 8.7			栃 木 20.3			鹿 沼 22.7				宇 都 宮 38.6				黒 磯 33.4					
路 線 発 表																										
中 心 グ イ 設 置																										
工 事 説 明																										
道 路 設 計																										
幅 グ イ 設 置																										
用 地																										
工 事 (工 区 名)																										
	南	北	田	岡	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南	南
	岩	槻	蓮	田	白	岡	久	喜	加	須	羽	生	明	和	館	林	板	倉	佐	野	藤	岡	岩	舟	栃	木
	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
工 事 進 捗 率 (%)	0	0	22	39	73	25	18	26	21	46	63	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1. 完了 実施中 未着手

注2. 利根川橋および渡良瀬川橋の下部工は完了している

※

※

※

※